

## 5分でわかる自動車事故事例 No.5

# 黄色信号で停止しなかった普通乗用車が追突した事故

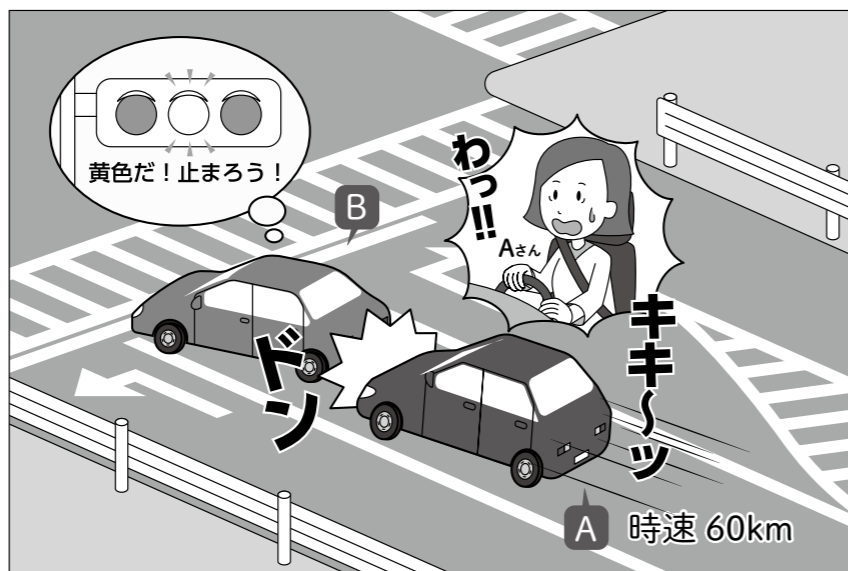
黄色信号は「注意して進め」ではなく「止まれ」です！

### 事例プロフィール

事故類型：追突  
発生日時：通勤時間

Aさん  
普通乗用車  
20歳代女性

Bさん  
普通乗用車  
50歳代男性



### 事故の概要

#### Aさんの状況

Aさんは、毎日通っている道をBさんの車に追従して、時速約60kmで走行していました。

信号がある交差点まで約40m前で、交差点の信号は既に黄色でしたが、Aさんは前走するBさんの車が停車せずに交差点を通過すると思い込み、そのまま交差点に進入しようとしていました。

その時、Bさんの車が急ブレーキ気味に停止したので、Aさんもブレーキを掛けましたが間に合わず、Bさんの車に追突し、衝突地点から約20m先でようやく停止しました。

#### Bさんの状況

Bさんの車はAさんの車に押し出され、停止していた地点から交差点を通り越し、約50mも先で停止しました。

### 事故から学ぶ

#### Aさんの注意点

Aさんは、普段から黄色信号で止まっていませんでした。

他の車両も止まらないのだから、黄色信号で止まるなんて、かえって危ないと思っていたようです。

黄色信号の意味は「注意して進め」ではなく、「停止位置を越えて進行してはならない」つまり「止まれ」です。\*

自分流の思い込みをせず、予知・予防意識があれば、『Bさんの車が黄色信号で停止すると追突してしまう』という予知ができたはずでした。

## 5分でわかる自動車事故事例 No.6

# T字路交差点で普通乗用車同士の出会い頭事故

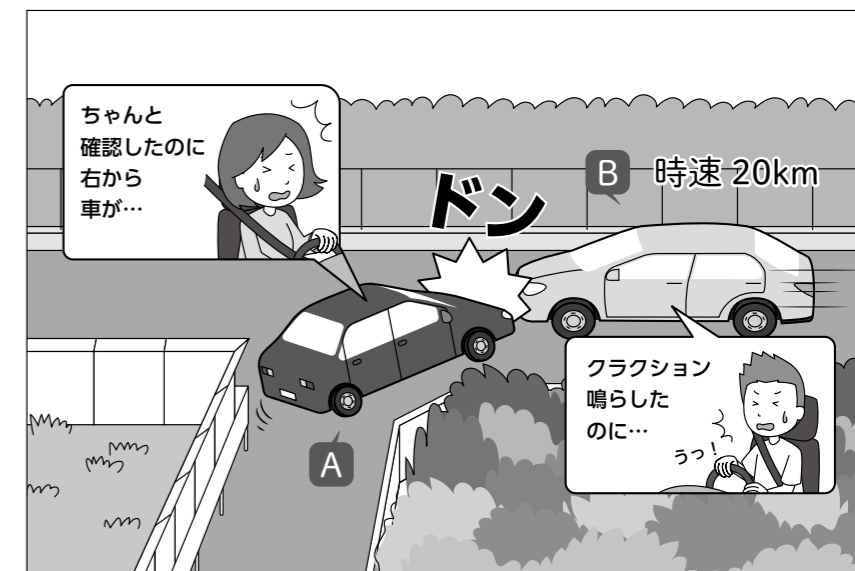
交差点での安全確認は、右から左の順番で！

### 事例プロフィール

事故類型：出会い頭  
発生日時：夕方

Aさん  
普通乗用車  
30歳代女性

Bさん  
普通乗用車  
20歳代男性



### 事故の概要

#### Aさんの状況

Aさんは往復一車線道路を走行していると、前方にT字路交差点を発見しました。

T字路交差点には、一時停止の標識も停止線もありませんでした。一時停止をして、小刻みに前へ出て交差する道路の左方向を確認し、右方向を確認しようと右を見た瞬間、右方から進行してきたBさんの車と衝突しました。

#### Bさんの状況

Bさんの車は、直線道路を時速40kmで進行しています。

前方左に交差する道路を発見したので、時速約20kmに減速をしました。その直後、交差道路から出ようとしているAさんの車を発見したのでクラクションを鳴らして注意を促し、Aさんの車が停止したのと思い、加速して進行したところ、突然Aさんの車が飛び出して来たので衝突しました。

### 事故から学ぶ

#### Aさんの注意点

Aさんは一時停止の後、左を確認してから右を見たと言っています。

日本の場合、車両は道路の左側を通行するので、右を見てから左を見る方が、安全確認をする上で意味があります。

今回の事故原因は、小刻みに前に出ながら左方向から確認してしまったことで、右を見た時には間に合わず衝突してしまいました。

#### Bさんの「自分を守るための注意点」

Bさんが鳴らしたクラクションは、Aさんには聞こえていなかったようです。

クラクションを鳴らしたことに、過度に頼りすぎるのは避けた方がいいでしょう。

\* 道路交通法施行令 第二条 黄色の灯火

車両及び路面電車は、停止位置をこえて進行してはならないこと。ただし、黄色の灯火の信号が表示された時において当該停止位置に近接しているため安全に停止することができない場合を除く。